

すいさん山形

漁民と手をつなく広報誌

No. **356**

令和3年 / 1 月号

山形県漁業協同組合
広報誌

新しき芽生えを見出す年に



1月4日、県漁協本所講堂にて新年挨拶会が行われました。今回、新型コロナウイルス感染症対策により、飛鳥支所、由良総括支所、念珠関総括支所の職員においては、WEB上での挨拶会となりました。依然として新型コロナウイルス感染症による厳しい状況下でつらいことの多いところですが、令和3年は大きな希望が芽生え、皆様にとって良い年になりますように心からご祈念申し上げます。



新年のご挨拶

山形県漁業協同組合

代表理事組合長 **本間 昭志**

新年 明けましておめでとうございます。令和三年の新春を迎え、組合員の皆様、役員ならびに水産関係団体の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、本県水産業は、地球温暖化の影響等による漁業状況の変動、クロマグロ等の国際的な漁業規制への対応、漁業就業者の減少と高齢化、漁業後継者不足等の漁業の構造的な問題に加え、世界で蔓延する新型コロナウイルス感染症による経済の停滞が及ぼした魚価安と当漁協の主力生産物である冷凍イカの滞留等、依然として困難な諸問題に直面しております。

当組合の経営改善のため取り組んでいる「第6次中期経営改善計画」は新年度より3年目となり、漁協組織の健全化のために、総力を挙げて各種事業推進・浜の活性化に取り組んで参る所存であり、漁業者による浜の活力再生と漁業構造改革の取組みを積極的に支援し「組合員から信頼される組織」であり続けるため、組織を挙げて事業推進・組織改革を着実に実践しながら組合員の皆様の負託に応える決意であります。

当組合は、漁業を巡る経営環境が厳しさを増す中においても本県漁業を維持・発展させ、地域社会・経済への貢献を果たすとともに、多面的機能の発揮等、漁業協同組合としての使命を果たしていかねばなりません。

令和元年度より実施しております「経営基盤強化支援事業」は二年目となり、外部コンサルタント会社による経営実態の把握と分析を終了しております。内容については大変厳しいものとなりましたが、皆様のご理解とご協力が無ければ改

革の実行は不可能であり、当漁協が進むべき道を的確に捉え皆様のご意見に耳を傾け進めて参る所存であります。

また、今般、国は、水産改革を進めるための水産関係予算の概算を提示いたしました。

今年度補正も併せた予算総額は三千六十五億円となり、当初予算を柱とする水産予算が三千億円を超えるのは三年連続となりました。

予算の柱として、大臣許可や県知事許可漁業の新たな資源管理システムの着実な履行が第一に掲げられており、地先漁業から沖合いか釣りなどの近海漁業の漁獲データ管理については当漁協経済事業システムの得意とするところであり、漁業者の皆様には大きな負担を強いること無く対応できるものと期待しております。

さらには、資金不足が懸念されていた漁業収入安定対策「積立プラス」制度についても要望が受け入れられ、当初予算、補正予算合わせて九百一億円が計上され、資金不足の懸念は解消される見通しとなりました。

ところで当組合では、これら国の事業を用いての大きな事業が二つ進捗しております。由良総括支所管内において長年の懸案事項でありました漁船上下架施設の新設については西船揚げ場の斜路面の工事が始まり、新年度からは台車の制作と設置工事に取掛かります。また、山形県沖地震で被害を受けた豊浦支所については、令和二年度の事業により荷捌施設の建設が進み、年度内の完成予定で進んでおります。完成までのご不便をお掛けする事もあります。組合員の皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に、当組合の経営状況を申し上げますと、基幹事業である販売事業については、小型イカ釣り漁業と定置網漁業の豊漁により、十二月末現在、前年対比三億五千万円増の二十六億二千万円という状況で推移しております。しかし、コロナ禍によって加工原料の冷凍イカの滞留は改善されておらず、販売価格と在庫の管理には十分注意して参ります。

当組合はこの現状に慢心することなく、水揚げだけに依存する事無く経営が成り立つ組織として、事業の展開と組織改革を進めていかなければなりません。そして、役員が一丸となり、経営収支・コスト意識を認識しながら事業利益の確保を目指して参ります。

今後、更に加速するであろう水揚げ減少による収益減をどの事業で補うのか、事業直接費や管理費の削減、適正化も含め、各事業の推進に全力で取り組むことが求められております。

具体的に申し上げます。信用事業では、貯金と貸付金の信用事業の両輪の充実に努め、組合員の利便性の確保と信頼される漁業金融を目指して参りたいと存じます。全国的に信用事業の合併が進む中、当漁業としては経済事業の安定が信用事業継続への最低限の条件であり、将来を見据えながら事業展開をして参ります。

共済事業では、恒常・集中推進等を強力に実施し、主力商品推進計画の早期達成に努めて参りたいと存じます。

購買事業では、適正価格での安定供給・品質確保と利用率向上に向けた全利用体制を推進して参りたいと存じます。石油類の供給については、現行の油送船の老朽化が進み代替船の購入計画が進んでおり、工事船や公船への販売参入にも注力して参ります。

販売事業では庄内北前ガニ、庄内おぼこサワラなど「地産・地消」ブランド魚の普及の一の取り組みのほか、魚価の維持・向上、付加価値向上に取り組みで参ります。加工事業においては、スルメイカ等の漁獲量減少と原料価格高騰に対応するため、

前浜の低価格魚を原料加工する事による製造販売を強化するとともに、学校給食事業への参入にもこれまで以上に注力して参る所存であります。

産直事業については、引き続き対面販売による取組みを展開し、消費者のニーズを出来るだけ早く生産者に伝え顧客満足度を高める取り組みにも着手して参ります。

指導事業では、浜プラン・広域浜プランの更新を図り継続的に取り組むとともに、「浜」の構造改革を更に推し進めて参ります。

また、職員の事業全般にわたる業務推進に対し、互いのモチベーションの向上につながるような奨励的な待遇策についても検討して参ります。特に、市場業務における時間外労働、休日の確保は関係法令を遵守して参ります。

今年の干支にあたる「辛丑(かのと・うし)」は、古き芽生えを見ながらも終わりを告げ、新しき芽生えを見たいと年と変わって参ります。合併以来五十年以上庄内浜を守ってきた漁協が組織をスリム化し、減少する組合員は少数精鋭化する事でこれから先立ちにはかかる難関を超えて行く。その為には慣れ親しんだ習慣やシステムに終わりを告げなければならぬ。そうした覚悟を持って努力しなければならぬと考えるべきであります。

水産政策の改革や漁協システムの運動方針の基に作成されたアクションプランの確実な履行が新たな環境や局面でも対応していける、しっかりととした組織としての体制を築いていけると信じ運営して参る所存であり、組合員・役員の方々の皆様には引き続きのご支援、ご協力を切にお願いするものであります。

最後になりましたが、令和三年が漁業や漁村、山形県漁業協同組合にとって新しい出発の年なるとともに、全組合員をはじめ、関係役員にとりまして良い年でありませう、また、操業の安全と大漁一層のご繁栄・ご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

「ぎよさい」と「積立ぷらす」でつなぐ明日の漁業!



伊原 光臣

日本漁船保険組合
山形県支所連営委員長

令和三年の新年を迎え、皆様にご挨拶を申し上げます。

平素は当組合業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の漁業を取り巻く環境は依然として厳しく、それに加えて新型コロナウイルス感染症が蔓延し、消費マインドも減退、水産物の消費減少による販売価格の下落等の要因が加わり、一層厳しさを増しております。

このような中、昨年度漁船保険組合では保険料率の改正を行い、全体的に大幅な料率の引き下げを行いました。また、新型コロナウイルス感染症拡大による漁業者に対する影響を鑑み、当支所では一時的な保険料負担の軽減を図ることを目的に、保険料分割条件の緩和を実施しました。

漁船保険組合は、今後も漁業経営のセーフティネットとして、与えられた役割を的確に果たすべく、稼働漁船の全船加入、船主責任保険及びPB責任保険の推進、保険金の早期支払いを重要施策とし、皆様ご安心をもちに、保険制度の維持・発展に役職員が全力を尽くし、業務を遂行していく所存です。

終わりになりましたが、本年が皆様方にとりまして、明るく実りある年になりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



本間 昭志

全国合同漁業共済組合
山形県事務所連営委員長

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新春にあたり、皆様の本年のご多幸を心より、祈念申し上げます。

昨年を振り返りますと、年明けからの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、新たな生活様式が求められるなど、これまでに経験したことがないような生活を送らなければならぬ一年となりました。水産業界においても水産物の急激な需要の減少、魚価の下落等、漁業経営はもろろん、水産業に関わる多くの方々や漁村地域に現在もなお多大な影響を及ぼしております。さらに、環境異変等を主因とした不漁が恒常化しており、全国的にも不漁が相次ぐ厳しい一年となりました。

このようななか、令和2年度の「ぎよさい」と「積立ぶらす」の全国での引受支払実績はいずれも過去最高となった令和元年度を上回るペースで推移しており、漁業経営を守る「ぎよさい」と「積立ぶらす」が果たす重要な役割が改めて広く認識され、漁業者からの期待はかつてないほど高まっております。

今年度は改正漁業法の施行を受けて、「漁業収入安定対策事業の機能強化と法制化」が引き続き検討される予定ですので、漁業共済団体として漁協系統、漁業者団体の皆様と緊密に連携し、今後とも漁業者の方々に自然災害対策、経営安定対策として「ぎよさい」と「積立ぶらす」を活用していただけるよう、より良い制度の実現に向けて取り組んで参ります。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の脅威のなか、普及推進に、ご理解・協力頂いている漁業関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。新たな一年が災害のない豊漁・豊作となることを祈念するとともに、漁業経営を守る「ぎよさい」と「積立ぶらす」のより層の浸透・定着に努めて参りますので、本年も皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



本間 昭志

JF水産東北事業本部山形支店
山形県JF共済推進本部
本部長

新年おめでとうございませす。新しい年を迎え、組合員の皆様、役員員の皆様のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

本県推進本部は、「浜の安心を未来へひろげよう共済の輪 JF共済3か年計画」(2020年度〜2022年度)掲げ、長期共済である普通厚生共済「チョココー」、生活総合共済「くらし」キャンペーンを実施してまいります。今年度はこの3か年計画の初年度として、「組合員・地域住民の暮らしの保障に万全を期す」取組みを実践することで、組合員一人ひとりが笑顔になれる浜作り目指し、主要課題である共済事業量の目標必達に向け、全力で取り組んでいるところであります。

JF共済は組合員・地域住民のみならず、みなさんの生活を守る活動として「浜のあんしんサポート運動」の実現に向け、一人ひとりのライフプランに合わせた保障点検活動により、主力であるチョココー・くらしを中心とした普及拡大に努め、目標達成に向けて最大限の努力を図って参りたいと考えています。

最後になりますが、2021年が皆様方にとって、新しい幕開けになりますとともに、なお一層のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、2021年が皆様方にとって、新しい幕開けになりますとともに、なお一層のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



加賀山 祐

全国漁業信用基金協会
山形支所 担当理事

新年明けましておめでとうございます。当協会の業務運営につきましては、日ごろから格別の御支援、御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

当協会は、漁業者の皆様が金融機関からの資金調達を円滑に行えるよう、その債務の保証を業務としております。水産業を取り巻く環境が厳しさを増している中、設備投資に意欲的な漁業者の方々による漁船リース事業等の積極的な活用により、本年度の保証引受件数及び保証引受額は前年度より共に増加しております。当協会といたしまして、漁業者の皆様が立場に立ち、引き続き浜の水産金融の円滑化に取り組んで参る所存であります。

さて、当協会では組織再編による合併効果の発現に向けた取組みの一環として、令和2年4月より、漁業近代化資金に係る適用保証料率の引き下げを実施いたしました。また、10月には青森県漁業信用基金協会を吸収合併し、全国38支所を擁することとなりました。今後、漁業者の皆様に対する更なるサービスの向上や安定した保証制度を提供できるよう役員一丸となって努めて参りますので、ぜひご利用下さいませようお願いします。

最後になりますが、この一年の大漁と漁業関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、この一年の大漁と漁業関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



五

年大いに語る！

プロフィール

- ①自分にとつて過去1年間良い事ベスト1
- ②5年にかける夢
- ③漁協に期待すること（水産業全体でも良い）



昭和24年生まれ



としかた総合市場
すだ わえつ
須田 和悦

以前より趣味で魚釣りに没頭していたが、36年勤めた会社の退職を期に、平成23年より一本釣り漁を開始。現在、第二宝運丸にて一本釣り漁業と遊漁船業を営んでいる。

- ①コロナ禍で魚価の低迷、また遊漁等にも影響が出ている中、防波堤や港内調査等の業務を得ることで、厳しいながらも昨年度を無事に乗り切る事ができた。
- ②今後、後継者育成として、自分と息子の二人で漁業・遊漁ともに頑張っていきたい。
- ③コロナ禍で低迷している魚価が上がるよう頑張りたい。

また、漁協に所属している遊漁船は、漁協に遊漁手数料を支払っている。漁協からはなんらかの形で還元を行って欲しい。最後に、今後漁業と遊漁が共存できるよう明確なルールを設けてくれることに期待したい。



昭和24年生まれ



豊浦支所
さとう ちようえつろう
佐藤 長悦郎

昭和43年加茂水産高校漁業科卒業後、カナリヤ諸島のトロール船に乗船し、昭和44年9月より家業の底曳船にて日本海小型ます流し網漁業に従事。昭和46年より中型船に切り替え、裏作としていか釣り大目流し網、そして平成24年よりいか釣り專業船として現在に至る。「乗船歴52年、漁労長歴43年、こうして長きに亘り乗船できたことは、偏に妻の協力、良き乗組員に恵まれたおかげであり、感謝しています。」

- ①昨年度はコロナ禍でよいことは思い出せない。しいて言えば、健康でいられたことかな。
- ②この事業は山と谷の激しい事業であり、谷のときに耐える体制を作り、牛のように粘り強くゆくりと地に足をつけて事業の継続に努めたい。
- ③水揚げ高の減少や乗組員不足で、漁業経営者の廃業にも繋がる事態が長期にわたり続いている。経営者も漁協もいろいろと対策はしているが、いまだ解決していない。このような状態で漁協運営も大変だと思われる。今は県外イカ釣り船の水揚げで助けられているようだが、県内漁船だけで運営するにはどうすれば良いのか、漁協の理事、役員、組合員全員で一步踏み込んで考える時期が来ていると思う。

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で拓げる浜の安心！

昭和24年
生まれ



飛鳥支所
齋藤 仁

タラ網をはじめニシン網、日本海ます流し網、いか釣り船など様々な経験をし、20代の頃からやりいか猪口網の船頭長を勤めた。また、地元では漁業無線士会長として、漁協では総代として第一線で活躍してきた。現在は自船の栄幸丸でいか釣り漁業を営んでいる。

①新年おめでとございます。大過なく、よかったと思います。これからもそうありたいです。

②いか釣りが専門ですが、自分も愛船も高齢になるので周りに従い無理をしないで、家族に迷惑をかけないようにしたい。それから、コロナウイルスが早く収まると欲しい。

③漁業者の高齢化・減少など、漁業界も大変なことだと思います。しかし、世の中良い時もあれば、悪い時もあります。依然として厳しい状態にありますが、こういう時だからこそ漁業者も、漁協職員もお互い声を掛け合いながら頑張りましょう。

昭和48年
生まれ



吹浦支所
土門 拓也

第3栄祥丸にて、採貝藻漁業、刺網漁業、海成丸にて張網漁業を営んでいる。

①一男の就職が決まったこと。
②コロナが終息して、事故や怪我もなく、大漁になります様に。

③職員の皆様には、日頃より大変お世話になっております。魚の値段が少しでも上がるように、一緒に頑張りましょう。

昭和48年
生まれ



温海出張所
藤谷 光典

前回の「丑年大いに語る」で、会社員からどうした訳か由良の底曳船に乗船している「異色の経歴を持つ男」と紹介されてから12年、現在も「富芳丸」で「異色のベテラン」として頑張っている。

①12年後の9月、初孫(男子)誕生がダントツのベスト1なのだが、私が「祖父さん」というのはなんだかなあという感じだし、ましてや妻を「祖母さん」と呼べるわけがない。

②孫ちゃんが元気にすくすく育ち、家族全員が笑って過ごせたら最高。じいちゃんになり、年寄り気分になるけれど、仕事も子守もバリバリこなせるよう、身体をいたわりながら鍛えたい。

③新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、魚価が元に戻り、いやもつと高くなるよう、共に頑張り、孫にたくさんプレゼントが買えるように頑張ります。

昭和48年
生まれ



由良総括支所
五十嵐 健生

平成22年より漁業就業者育成制度を利用して研修を積んだ後、平成23年に独立。平成28年には念願であった自船「海生丸」を新造し、はえ縄漁を営んでいる。

①明けましておめでとございます。昨年は事故もなく、1年間安全に操業できたことです。

②新型コロナウイルスが早く終息しますように。
③高齢化による漁業者の減少に加え、最近では、若い人たちが魚をあまり食べないことが問題。漁協からは、もつと庄内浜の魚の魅力を全国に伝えてもらい、若い人達にたくさん魚を食べてほしい。そして、若い漁師がもつと増えて活気のある漁港になってほしいです。

昭和48年
生まれ



念珠閣総括支所
佐藤 清

加茂水産高校卒業。羽前丸の乗組員として底曳き網漁業に従事し、20年程になる。

①1年間を振り返ってみても特段良かったことはありませんでしたが、怪我もなく無事に1年間働けたことが何より良かったことだと思います。

②前年度は新型コロナウイルス流行と感染拡大により不要不急の外出自粛や各イベントの中止が多くありましたが、今年はコロナウイルスの感染が収まり、今まで通りに当たり前のことを当たり前にできる年になりました。地域に活気が溢れる年になればと期待しています。

③漁業を取り巻く環境は厳しい状況だとは思いますが、魅力ある風ヶ関の水産物をより多くの人に提供できるように組合の職員には、協力していただきたく思います。最後になりましたがいつもお世話になり、ありがとうございます。

昭和60年
生まれ



加茂出張所
佐藤 将翁

加茂水産高校卒業後漁船に従事し、現在はかにかご漁船「協和丸」の機関長として活躍している。

①あけましておめでとございます。昨年末、久々にパチンコで勝ったことかな。

②新型コロナウイルス感染症が早く終息してほしい。今年も安全操業で大漁に、また、健康に過ごせるようにしていきたい。

③なかなか明るい話題はないが、活気に溢れ、にぎやかな浜になるように期待する。

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で家族も安心!

令和3年度 水産業の振興に関する要望書を提出



山形県知事



庄内総合支庁長



酒田市長



鶴岡市長



遊佐町長

本県における水産業は地球温暖化の影響等による漁海況の変動をはじめ、漁業就業者の減少による高齢化及び後継者不足等による漁業の構造的な問題が山積しています。また、世界で蔓延する新型コロナウイルス感染症による経済の停滞が及ぼした魚価安と当漁協の主力生産物である冷凍イカの滞留等、依然として困難な諸問題に直面しております。

こうした漁業・漁協をめぐる諸問題の中には多方面からの協力がなければ解決が困難な課題が多くあるため、山形県をはじめとする市町行政に支援を要請しました。

要望書の骨子は以下のとおりです。

要望事項の骨子

1. 水産政策改革への適切な対応について
2. 庄内浜産水産物の販売促進について
3. 漁協経営基盤強化に対する支援について
4. つくり育てる漁業の推進について
5. 漁業の担い手育成・確保の強化について
6. 漁業構造改革の更なる推進について
7. 漁港・港湾施設の整備充実について
8. 県漁業試験調査船「最上丸」の効果的運用について
9. 豊浦荷捌施設への支援について
10. 無線施設規則改正にともなう無線機器更新への支援について
11. 山形県水難救済会に対する支援について

理事会情報

令和2年度 第7回 理事会議案
開催日…令和2年12月15日(火)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 山形県常例検査に係る検査書及び改善状況報告書について
 - 2 令和2年度上半期監事監査の結果について
 - 3 公印規程の一部変更(案)について
 - 4 販売取扱規程の一部変更(案)について
 - 5 契約関係事務処理要綱の一部改定(案)について
 - 6 由良上架施設(台車式捲揚施設)の整備について
 - 7 うぐい・こい・ふな刺網漁業の承認について
 - 8 さくらます刺網漁業の承認について
 - 9 年末年始の取扱いについて
 - 10 山形県知事選挙候補者の推薦について
 - 11 新規取引先に係る販売掛金与信限度額の設定(案)について
 - 12 第5ちとせ丸代船購入(案)について
- 【報告事項】
- 1 令和2年11月末現在収支状況について
 - 2 令和2年度JFマリンバンクモニターリングの結果について
 - 3 組合員の加入・脱退について
 - 4 その他

新型コロナウイルス感染症対策を行っています!

この度、新型コロナウイルス感染症予防対策として、高速検温が可能な「体表温度測定機能付マルチターミナル」を本所入口に設置いたしました。また、各総括支所及び飛島支所にWEB会議システムを導入したことにより、漁協職員だけでなく組合員においてもリモート（遠隔）での会議が可能となります。

去る12月2日には、導入したWEB会議システムを使用した新型コロナウイルス対策会議が行われ、組合長をはじめ、管理職員が出席しました。

本会議では、由良及び念珠関総括支所において新型コロナウイルスの感染者や濃厚接触者（以下「感染等」）が確認され、当組合職員が離脱した場合には、当該職員に代わる人員補充が必要となるため、その際には、本所又は他支所の職員を派遣し、荷受け等の対応に当たることが取り決められました。仮に、由良地方卸売市場で感染等が確認された場合には、当該支所の競売物は念珠関又は酒田地方卸売市場に搬入した上で販売を行い、入札物は電話入札とする等、想定されるケースの対処方法について確認しました。

今後も新型コロナウイルス感染症対策につきましては引き続き市場内でのマスク着用、手指の消毒他、咳や発熱などの症状がみられる者の立ち入りを禁ずる等徹底してまいりますので、ご関係の皆様方には今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。



1月7日に発生した歴史的豪雪及び強風に関する被害状況について

1月7日、急速に発達した低気圧の影響で日本海側を中心に非常に強い風が吹き、酒田市飛島で42メートルを超える最大瞬間風速が観測されました。その後強い冬型の気圧配置により、東北地方の上空約5千メートルに氷点下39度以下の換気が流れこんだことから、9日には庄内地方を中心に大雪となり、酒田市では積雪45センチという観測史上1位の記録を更新しました。人的被害が少なかったことは何より幸いでしたが、一部漁船と漁協施設に大きな被害を受けました。



今回の強風により、ほぼ半壊状態となった由良中間育成施設をはじめ、念珠関総括支所では資材置き場で屋根のはく離等が見られたほか、軽油機械室外部や軽油タンクに損傷が見られました。また漁協本所においても、凍結により上屋の給水バルブが損壊し、給油施設では屋根のはく離破損が見られました。他に、由良船揚場では漁船が横転するなどしました。

被害にあわれた皆様へ心からお見舞い申し上げますとともに、当漁協では一日も早い復旧に向け、早期対応を図ってまいります。



新・豊浦支所

ただいま改築工事中!!



豊浦支所は、昭和43年の建設後50年以上が経過し、当組合の施設として最も古い建物ですが、老朽化に加え、2019年6月18日に発生した山形県沖地震の影響により亀裂が入るなど倒壊の不安も抱えていたことから、国の補助事業により、昨年の9月から隣接する漁港用地において建設工事に着手し、令和3年3月の完成を目指しています。

現在は、鉄骨と屋根工事が完了し外壁の取付工事に入っており、年明けからは電気、設備関係の工事が本格化しております。

現在は、鉄骨と屋根工事が完了し外壁の取付工事に入っており、年明けからは電気、設備関係の工事が本格化しております。

また、建物は鉄骨造り平屋建て延べ面積が412.5㎡となっており、事務所部分も含めて貯水庫、鮮魚保管庫、碎氷設備等が一体となった施設です。完成後に改めて詳しくご紹介いたします。



種苗生産したナマコを放流しました



酒田港に放流する様子

水産研究所では、皆様からの熱い要望を受けて、昨年度から漁港内などで多く漁獲される「青ナマコ」の研究を始めました。今年度は4～5月に親ナマコから採卵作業を行って種苗生産を実施し、約2000個体の稚ナマコを生産しました。

これらの稚ナマコは、堅苔沢（8/26）、吹浦（11/18）、酒田（11/18）、由良（12/10）の港内に試験的に放流し、特に由良では、加茂水産高校アクアライフ系3年生の力も借りて放流を実施しました。

放流基質には、追跡調査がしやすいように、漁業者や企業が設置した漁礁を活用し、堅苔沢は小型藻魚礁、吹浦は大型ナマコ礁、酒田はFRCコンクリートブロックへそれぞれ放流しています。

堅苔沢の小型藻場礁に放流した稚ナマコについて、約2か月後の10/17に引上げ、中のカキ殻を取り出して追跡調査をしたところ、79.5%という高い残存率を示しました。このことから、稚ナマコを放流する場合には、カキ殻などの細かい空間がある基質が有効であると考えられます。

数年後には多くの港がナマコで溢れ返るように！ 次年度は万単位で稚ナマコを生産できるように頑張ります！！



由良港に放流する水産高校生



小型藻場漁礁の引上げ調査

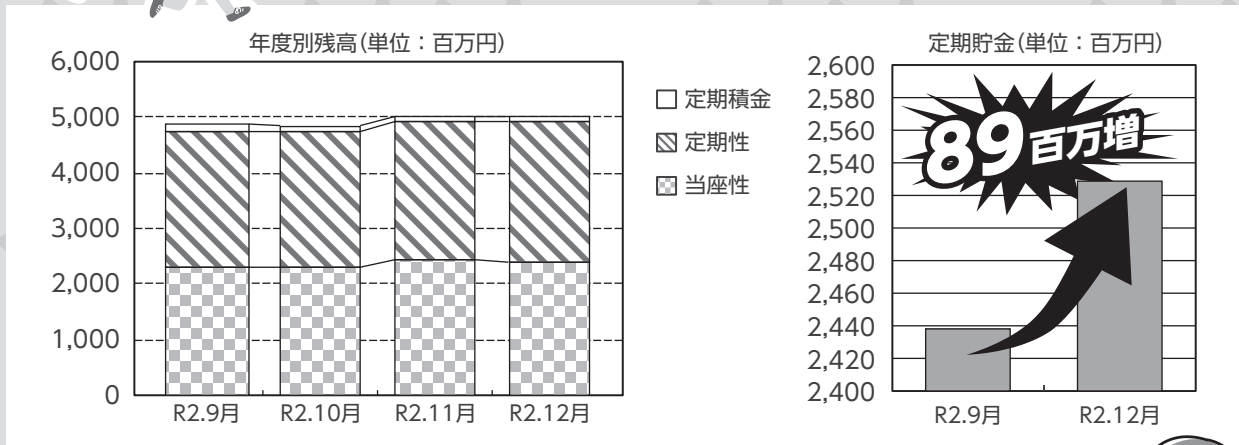
水産研究所 工藤 創

全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動

ご協力ありがとうございました!!



「みな貯金運動」へのご協力ありがとうございました！
 当組合では、10月1日から12月30日まで“今年も貯めよう。貯金キャンペーン”と題して、3カ月にわたって展開してまいりました。
 期間中は、お客様をはじめ組合員、関係団体ほか多くの皆様からご協力を賜り、誠にありがとうございました。
 今年度の全体貯金残高は、定期貯金を中心に9月末より143百万円の増加で終了いたしました。
 また、新規契約者特典品の「ステンレスボトル」、「ラウンドグラス」につきましては、大変ご好評をいただき、早めの配布終了となりました。
 次年度も皆様から喜んでいただける特典をそろえて、各支所窓口にてお待ちしております。



今後とも、年金振込や公共料金・各種ローンなど、より一層ご愛顧頂けますようお願い申し上げます。



**コロナ
3密対策!**

念珠関総括支所にATMを設置いたしました

日頃より、当組合JFマリンバンクをご利用いただき、誠にありがとうございます。
 さて、コロナ感染症予防対策として、組合員の皆様及び利用者の皆様における信用窓口での3密の回避を目的として、念珠関総括支所（山形県鶴岡市鼠ヶ乙41-1）の事務所1FにATMを新しく設置いたしました。
 概要につきましては、以下のとおりとなっております。

稼働日時 平日9時～15時
仕様 現金入金、現金出金、通帳記帳、残高照会
硬貨の入出金が使用できません。紙幣のみご利用いただけます。

なお、キャッシュカードの新規発行につきましては、平日9時～15時まで、念珠関総括支所にてお手続きできます。
 今後とも変わらぬ、ご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



水研の何でも魚ッティング

新最上丸の調査機器の紹介 第2回 計量魚群探知機の巻

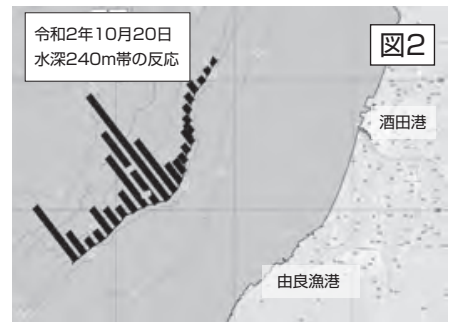
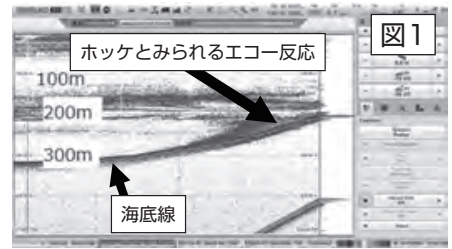
みえない海の中をどうやって探るか、浅ければ箱メガネでのぞいたり、水中メガネをして潜ればよいのですが、50m、100m、200m…と深い場所になると、そう容易なことではありません。深い海中を探るのには、撮影装置を耐圧ケースに収めて沈めたり、自走式水中ビデオを潜航させたりすることもあります。多くの場合、超音波のエコーを利用する音波探査装置を用います。漁業者の皆さんが船に付けている“魚探”（魚群探知機）も、エコーを利用しますから音波探査装置の一種です。今回ご紹介する「計量魚群探知機」は、その名のごとく魚探の一種です。とはいっても普通の魚探ではなく、“計量”とありますから、魚の資源や量を計るための“魚探”であり、エコーを数値化して出力する機能やデータ収録機能など高度な能力が備わっています。最上丸の「計量魚群探知機」（以下、計量魚探）は実は旧船にもあり、故障する平成15年頃までマイワシやスケトウダラの分布調査に用いられました。新船ではWindows10上で作動する最新機器が整備され、昨年10月に小型ホッケ分布調査（以下、ホッケ調査）を実施しました。ホッケ調査は、はじめに酒田、加茂、鼠ヶ関沖の3線で浅場から深場をみる水深分布探査を、その後、地先別の違いもみるため、酒田～鼠ヶ関沖にかけての水平分布探査を行いました。

図1は10月7日の水深分布調査のうち加茂沖の結果

です。水深200m台の海底付近に強い反応がみられ、酒田沖と鼠ヶ関沖も同様でしたが、酒田沖の反応は他よりも弱いものでした。この傾向は10月14日の調査でも変わりませんでした。

図2は最も反応の強い水深240m（160ヒロ）あたりを調べた10月20日の水平分布探査の結果（棒グラフ）です。水産研究・教育機構の専門家によると、由良沖や鼠ヶ関沖のピークは通常はありえない強い反応（密度）とのことです。今後も、折をみてホッケ調査は続けていきますし、計量魚探でうまく捉えられる魚種かどうかの検証を行います。他魚種に調査を広げていく予定です。

水産研究所 高澤 俊秀



変な魚の賑わう季節



庄内にも初雪が降り、日々冷え込みが厳しくなる頃になると、当時の水産試験場では、色々な方々から見たことがない魚が獲れたという問い合わせが来るようになります。多くは南方系の魚で、カラフルないかにも熱帯魚や見慣れない姿の魚が実物で届いたり、写真が送られてきます。

● 庄内浜の沖を流れる対馬暖流は黒潮の分流で、北半球の熱帯地方から東シナ海を経て日本海に入ってきますので、あまり回遊性の無い魚でも流れに乗って迷い込んで来るのですが、秋から冬にかけて水温が低くなっていくとだんだん衰弱し、岸寄りや網にかかったり、岸辺に打ちあげられたりして発見されてしまうからです。

珍しい魚は市場で値段が付かない事が多いようですが、最近の若い漁業者の中には好奇心旺盛な人も多く、操業中に写真をメールしてきたこともありますし、市場の関係者や飲食店からの問い合わせも来たりします。

最初に「名前は？」、次に「食えるか？」、そして「美味しいのか？」が問い合わせの三点セットで、図鑑で名前や毒の有無などは割と簡単に判定できるのですが、図鑑の説明に書かれている、食味の美味、不味は全くあてになりません。たぶん図鑑の編者も実際には食べたことが無い魚でも、人づての話をそのまま載せているからだだと思います。鮮度や調理法で大きく味が変わったりしますので、自分や同僚が実際に食べた魚であれば自信を持って回答できるのですが、実際は「不味いらしいですが、美味しいという意見もあるようです。」という、何とも締まらない答えを返すことになってしまうのです。

庄内水産振興課 忠鉢 孝明

水揚情報

令和2年12月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
11月末迄水揚累計		2,407,135	62,721	49,836	1,377,260	111,680	235,275	142,441	27,910	400,012
月間水揚	県内船水揚	148,065	12,829	888	44,984	6,559	32,363	14,305	711	35,426
	県外船水揚	69,680	0	0	69,680	0	0	0	0	0
	合計	217,745	12,829	888	114,664	6,559	32,363	14,305	711	35,426
前年同月水揚		341,209	10,237	4,815	205,570	6,923	37,413	14,360	1,638	60,253
本年度水揚	県内船水揚	1,593,517	75,550	50,724	516,259	118,239	267,638	156,746	28,621	379,740
	県外船水揚	1,031,363	0	0	975,665	0	0	0	0	55,698
	合計	2,624,880	75,550	50,724	1,491,924	118,239	267,638	156,746	28,621	435,438
前年度水揚累計		2,266,448	80,416	48,728	1,199,295	116,087	230,980	146,287	31,623	413,032
増減		358,432	-4,866	1,996	292,629	2,152	36,658	10,459	-3,002	22,406
本年度水揚計画		2,680,000	99,000	84,000	1,362,000	138,000	285,000	173,000	35,000	504,000
達成率		97.9%	76.3%	60.3%	109.5%	85.6%	93.9%	90.6%	81.7%	86.3%

今あがっている魚			- 12月のベストテン -			前年対比 増↗減↘変らず→		
水揚金額(千円)			漁獲量(kg)					
1	するめいか	89,467 ↘	1	するめいか	126,491 ↘	 <p>月間MVP</p>		
2	はたはた	20,553 ↗	2	ぶり・いなだ	48,608 ↗			
3	さけ	19,296 ↗	3	べにずわい	30,960 ↗			
4	ほっこくあかえび	14,493 ↘	4	さけ	26,082 ↗			
5	たい	14,010 ↘	5	はたはた	24,377 ↘			
6	ずわいがに	7,004 ↘	6	たい	24,352 ↘			
7	さわら	4,527 ↗	7	ほっこくあかえび	11,734 ↘			
8	たら	4,511 ↘	8	たら	11,350 ↘			
9	ぶり・いなだ	4,401 ↗	9	さわら	3,995 ↗			
10	べにずわい	4,334 ↗	10	ひらめ	3,305 ↘			

●新年あけましておめでとございませう。十二支の中で最も動きが緩慢で歩みの遅い丑(牛)の年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年になると言われています。

●2020年の初めに突如として訪れた新型コロナウイルスによる災いは、今だ解消されずじっとり着実ですが、牛のように先を急がずじっくり着実に、忍耐強く、勤勉に、一年を過ごしていきたいと思います。

●年男の皆さんには、今年も大いに語っていただきましょう。前述と同義になります。古から丑年生まれの忍耐強さや我慢強さに恵まれ、困難にもめげず目標達成のためにあきらめず努力する性格であるといわれているそうです。今年年男の皆様をはじめ、漁業を営むすべての皆様方の大漁満足、安全操業、そして健康をお祈りいたします。

●今年は寒くなるとの前評判通り、年明け早々記録的大雪に見舞われました。当漁協施設や、一部漁船に被害が見られましたが、大きな人的被害が見られなかったことが何よりでした。皆さま、被るに普及に悪戦苦闘の日々が続いたことのように、どうか体を労って無理の無いようにお過ごしください。

●今春、老朽化した豊浦支所が生まれ変わります。新・豊浦支所での活気ある市場の様子を想像すると今から胸が躍ります。また、念珠関総括支所にはATMが設置され、より便利になりました。今後ともより一層のご愛顧をよろしくお願いいたします。

●私がすいさん山形を担当して、3年が過ぎました。隔月発行とはいえず、発行するやいなや次号の編集企画を組み、寄稿をお願いする必要があるため、結局のところ常に「すいさん山形」の事を考えているような気がしています。読者の皆様に向けて、私たちが伝えたいことは何か、読者の皆様が必要としている情報はどんなことなのかを常に念頭に置き、より良い紙面づくりに今後も取り組んでまいりますので、皆様からもぜひ情報をいただきたくらせていただきます。アンテナを高く、首を長くしてお待ちしております。



指導課 小川 美和

「ぎよさい」と「積立ぷらす」で守ろう漁業経営!

コロナ禍で需要が低迷した地魚の消費を拡大!



魚のいいまち 鶴岡キャンペーン を実施しました



昨年は新型コロナの影響で全国的に外食産業における魚の需要が低迷し、鶴岡市内でも春～夏の魚価が平年を下回りました。

そこで本市では、漁業者、仲買人・鮮魚店、飲食店・旅館等関係者と連携して国の補助金を活用し、10月28日から12月27日までの2カ月間、「魚のいいまち鶴岡キャンペーン」を実施しました。内容は、①飲食店・旅館等に対する鶴岡市産サケやズワイガニ等16種類の地魚の購入支援（約半額の補助、上限あり）、②飲食店等へのノロゲンゲ等低利用魚のお試し無償提供、③飲食店等で地魚料理を食べた方へのワイン等のプレゼントです。

これもあり、飲食店等での地魚需要が増加してサケやハタハタ、ズワイガニ等の魚価が向上し、11月の全魚種の平均魚価が平年比約10%の増となり、併せて低利用魚の活用も進みました。

本市では、来年度も「魚のいいまち鶴岡」を掲げ、ブランド魚や低利用魚を含む地魚の消費拡大、魚価向上を図る取組を進めてまいります。 鶴岡市農山漁村振興課 五十嵐 崇

鶴岡市 新型コロナ経済対策

1. 魚箱・スカイコンテナ購入の支援

①水産業持続化支援事業補助金

(交付実績：14,577千円)【4月～9月】

・漁業者の出荷経費軽減のため、発泡スチロール製魚箱購入経費の1/3を支援（県との協調支援）

②水産業持続化支援事業（コンテナ購入）補助金

(交付実績：1,147千円)【7月】

・漁業者の出荷経費軽減及び鮮度保持のため、タラ等多量に獲れる魚種の出荷に使用する再利用可能なコンテナ購入経費の1/3を支援（県との協調支援）

2. 魚のいいまち鶴岡キャンペーン（10/28～12/27）

※詳細は左記本文を参照

①地魚販売促進事業（支援実績：13,367千円）

・購入支援対象魚種(16種)：シロサケ、サワラ、マダイ、ブリ、ワラサ、イナダ、スルメイカ、ハタハタ、マダラ、ヒラメ、マガレイ、マフグ、トラフグ、紅エビ、ズワイガニ、ノドグロ

②低利用魚試供用無償提供事業（実績：82箱）

・提供魚種：ノロゲンゲ、カナガシラ、サワラ、サゴチ、クマガレイ、ロウソクホッケ、アジ等

3. ふるさと納税返礼品（新型コロナ特別支援枠）での水産加工品の消費拡大

・寄付額：1,000千円（100件）【5/1～12/24】

・県漁協由良加工場で出荷している物産用水産加工品（甘鯛西京漬け、真鯛塩干し等）を返礼品として活用

4. 市職員向け魚介類の緊急販売

・販売額：895千円【5月～12月】

・新型コロナの影響で需要が低下した鮮魚や水産加工品の緊急販売を実施



昨年11月22日、霞城セントラルにて「庄内浜魚まつりin山形」を開催しました。毎年、本県自慢の水産物が出展され、多くの皆様にご来場いただいている人気のイベントですが、今回は新型コロナウイルス感染症の流行により、規模を縮小しての実施となりました。

会場では私の大好物の揚げ物のほか、紅エビカレーや水産加工品などの販売が行われました。また、庄内の魚に関するクイズラリー、海岸漂着物を使った万華鏡やキャンドルづくりでは、多くの家族連れが挑戦し、ステージではトタバローネin庄内浜アンパサダーの三浦友加さんをお招きしての愉快的なトークショーで楽しんでいただきました。

今後も工夫を凝らしながら、庄内浜の魚の魅力発信のため、楽しいイベントを検討していきますので、応援よろしくお祈りします。

山形県農林水産部水産振興課 太田 稔章



蓄養活締めマフグの試食会開催!

前回のすいさん山形で「蓄養モデル実証事業」の記事を掲載させていただきました(11月号5ページ目)。

現在、本事業を活用したはえなわ漁業者が、マフグの蓄養を行っておりますが、蓄養マフグの魅力を広くアピールするため、11月25日に由良コミセンにおいて、飲食店関係者を対象とした「蓄養マフグの試食会」を開催しました。試食会には、はえ縄漁業者の鈴木重作氏、庄内日本料理向上研究会の土田常雄氏、須田剛史氏、延味克士氏を講師としてお招きし、蓄養状況の説明やマフグの調理方法の実演等を行いました。

また、出席者には活締め個体と野締め個体それぞれの「てっさ」と「唐揚げ」を食べ比べてもらい、味や食感等のアンケートを行いました。その結果「野締め個体と比べ活締め個体は水っぽさや臭いが無く歯応えが良い」等の感想がありました。他にも、「活締めしたマフグはトラフグにも劣らないと感じ、蓄養活締めマフグの可能性が見えたように思う」との意見もあり、有意義な試食会であったと思います。

今回をきっかけに、本県において蓄養が広く活用されることを期待します。 庄内水産振興課 齋藤 祥司